

光市医師会報

No.461

(令和6年 春号)



さよなら国鉄バス

光市医師会

<https://bit.ly/3P3IZm1>

目次

光市医師会報 No.461 (令和6年 春号)

1. 表紙	
2. 第9回学術講演会	1
3. 第10回学術講演会	1
4. 第31回 光市医師会・光市立病院合同症例検討会	1
5. 理事会報告	2
6. 休日診療所	13
7. 月例会報告	13
8. 会員の異動	14
9. これからの行事予定	14
10. 緑友会ゴルフコンペ成績	15
11. あとがき	16

令和5年度 第9回
光市医師会学術講演会

2024年2月27日(火)

18:50～20:00

光商工会館2階 大会議室

製品紹介 18:50～19:00

帝人ヘルスケア株式会社

特別講演 19:00～20:00

「高血圧の観点から睡眠時無呼吸を診断する～早朝高血圧に注目～」

座長 光市立光総合病院 消化器内科

部長 谷川幸治先生

演者 おんが病院

副院長・循環器内科部長 吉田哲郎先生

令和5年度 第10回
光市医師会学術講演会

2024年3月26日(火)

19:00～20:10

光商工会館2階 大会議室

製品紹介 19:00～19:10

「タリージェOD錠について」 第一三共株式会社

特別講演 19:10～20:10

「糖尿病患者さんの食事・運動・合併症管理を再考する～神経障害性疼痛に対するタリージェへの期待～」

座長 いのうえ内科クリニック

院長 井上祐介先生

演者 川崎医科大学 糖尿病・代謝・

内分泌内科学

準教授 中西修平先生

第31回
光市医師会・光市立病院
合同症例検討会

令和6年3月5日(火)

19:00～19:45

光市立大和総合病院6階 大会議室

演題1

「繰り返す慢性心不全増悪に対してTAVI（経カテーテル的大動脈弁置換術）施行後に慢性心不全増悪を回避できた1例」

光市立光総合病院 循環器内科

内田正宗先生

演題2

「COVID-19罹患後抗ウイルス薬治療後に再燃し、重症化した症例」

光市立大和総合病院 内科

井本友加先生

演題3

「B型肝炎再活性化に対する当科の対策と現場」

光市立光総合病院 消化器内科

谷川幸治先生

理事会報告

令和5年度1月光市医師会定例理事会

日時 令和6年1月9日(火)午後7時00分より午後9時00分

場所 小蜂

出席 広田 修会長、井上祐介副会長、谷川幸治理事、田村健司理事、
守友康則監事、藤田敏明監事

欠席 北川博之理事、山手智夫理事、河内山敬二理事、前田一彦理事、
山手智夫理事、吉村将之理事

I 報告事項

1. 周南ケアねっとについて (広田会長)
(1) 令和6年3月で休止
(2) 令和5年4月～12月の費用は返還となる
2. 令和6年1月学術講演会について (谷川理事)
諸事情により中止

以上を報告した

II 協議、承認事項

1. 山口県医師会勤医部会市民公開講座開催について (広田会長)
令和6年度開催を打診 → 引き受け承諾
2. 「ニューレジリエンスフォーラム山口大会」参加について (広田会長)
井上副会長参加予定
3. 会員の異動について (広田会長)
近藤 龍一 先生 (近藤整形外科) A会員 → C会員

以上を協議・承認した。

令和5年度2月光市医師会定例理事会

日時 令和6年2月13日(火)午後7時00分より午後7時50分

場所 光商工会館2階 青年部・女性会研修室

出席 広田 修会長、井上祐介副会長、谷川幸治理事、田村健司理事、
北川博之理事、前田一彦理事、河内山敬二理事

守友康則監事 藤田敏明監事
欠席 山手智夫理事、吉村将之理事

I 光市令和6年度事業説明

II 報告事項

1. 周南地域医療対策協議会(1/11) (広田会長)

(1) 令和4年度 病院群輪番制病院の受診者状況について

光市立光総合病院 当番日数(休日) 8日

・受診者総数 73人 光市内 54人

・内科 31件、外科 7件、整形外科 31件、脳外科 2件、
その他 2件

(2) 令和5年度 時間外救急搬送件数

光地区消防

・光総合病院 600件(輪番日29件 非輪番日571件)

・大和総合病院 5件

・光中央病院 63件

・徳山中央病院 631件(輪番日 427件 非輪番日 204件)

・周南記念病院 196件(輪番日 24件 非輪番日 172件)

周南消防

・光総合病院 29件(輪番日 5件 非輪番日 24件)

・光中央病院 1件

下松消防

・光総合病院 67件(輪番日 2件 非輪番日 65件)

・光中央病院 4件

2. 令和5年第2回光市地域包括支援センター運営協議会(2/1) (広田会長)

(1) 報告事項 令和5年度光市国民健康保険事業運営方針(案)について

① 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント事業の再委託について

光市東部地域包括支援センター 18事業所

光市基幹型(西部)地域包括支援センター 22事業所

(2) 協議事項

① 令和5年度 光市地域包括支援センター事業報告

(5年度は11月末時点、4年度は3月末時点)

・令和4年度中から西部地域包括支援センターを委託から光市運営

・センターには保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種の配置が義務

- 光市基幹型地域包括支援センター（あいぱーく光）：牛島（全地区）
- 光市東部地域包括支援センター：室積、光井、大和
- 光市西武地域包括支援センター：島田、浅江、上島田、三井、周防
- ・地域ケア連絡会議を毎月1回以上開催

(i) 総合相談事業

- ・相談者数：6,506件（4年度7,354件）
- ・相談内容（重複集計）：9,732件（4年度11,366件）
介護サービス；2,349件、認知・医療；1,579件、生活・家族；1,587件
権利擁護；613件、その他；3,604件

(ii) 権利擁護業務

- ・権利擁護に関する相談：630件
- ・地域権利擁護事業：13件
- ・成年後見制度利用支援：194件
- ・権利擁護講演会 令和5年11月17日 参加者：80名
「最後まで『わたし』らしく生きる～自己決定から成年後見制度まで～」
講師 司法書士 野村 卓志 氏

(iii) ケアマネジメント支援業務

- ・介護支援専門員への支援延件数：203件（4年度：312件）
基幹型；110件、東部；93件
- ・介護支援専門員研修会 3回

(iv) 認知症対策事業

- ・認知症初期スクリーニング アクセス件数 2,978件
- ・認知症に関する延相談件数：734件（4年 729件）
基幹型；544件、東部：190件
- ・認知症予防講演会 1回：432人
- ・認知症サポーター養成講座 5回開催 延人数；112人（小中高生65人）
現在までの延べ人数；9,738人
- ・令和6年度は認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業を実施予定

② 令和6年度 光市地域包括支援センター運営方針

重点事業

- ・委託センターの設置と業務の周知
- ・基本業務の実施
- ・健康づくりや介護予防に関する知識の普及
- ・認知症に関する正しい知識の普及
- ・介護予防の推進
- ・地域ケア会議の推進
- ・権利擁護支援の強化
- ・認知症施策の推進

- ・生活支援体制整備事業の推進
- ・令和7年度は西武地区支援センターを直営から外部委託とする予定

3. 令和5年度光市国民健康保険運営協議会（2/8）（河内山理事）

（1）議題1 令和6年度光市国民健康保険事業運営方針(案)について

① 被保険者の資格管理及び医療費の適正化

- ・マイナンバーカードの健康保険証利用

現行の健康保険証は、令和6年12月2日に終了し、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行するが、引き続き被保険者が安心、確実に保険診療を受けられるように適切に対応する

Q：マイナ保険証の利用率が低いが、光市として、どのような取り組みをしているか？

A：R5年度は保険証を送るときに周知文をつけて送ったが、R6年度は、周知文送付とホームページでの周知を行う

② 国民健康保険税の賦課

令和6年度は、引き続き、税率を据え置き、多子世帯負担軽減対策や未就学児均等割りの5割軽減を実施する。また、令和6年度の税制改正により、保険税5割・2割軽減の判定基準所得を拡大し、後期高齢者支援金等課税額の賦課限度額を2万円引き上げる。

③ 国民健康保険税の確保

- ・収納率向上対策

令和4年度の収納率全体では、前年度に比べ2.71ポイント改善した。収納率向上のため夜間・休日の収納窓口の開設、夜間徴収等収納対策を強化し、保険税の確保を図る。時間外取扱窓口として、コンビニエンスストアやスマホアプリ決済での納付に加え、令和6年度からQRコードを利用した市民税等収納業務を開始し、利便性向上を図

- ・短期被保険者証及び被保険者資格証明書の交付

マイナ保険証移行に伴い、短期被保険者証や被保険者資格証明書の交付は廃止となる

④ 広報活動の推進

市広報や市ホームページ等への掲載、パンフレット等の配布により、一層の周知を図る

⑤ 保険事業の推進

- ・特定健康診査、特定健康指導事業

令和4年度の特定健康診査の受診率はAIを活用した未受診者勧奨や受信者へのインセンティブ付与等により前年度から1.8ポイント改善し、34.3%となった。令和4年度の特定健康指導の実施率は前年度から5.1ポイント改善し、25.4%となったが、国の目標値(共に60%)には達してい

ないため、引き続き、受診率、実施率の向上に向けた取り組みが課題となっている。令和6年度は、これまでの取り組みに加え、集団検診の開催日数の追加や検診結果説明会の開催により、被保険者間生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図り、健康の保持増進に努め

Q: 受診者へのインセンティブの付与はどのような事を行っているのか?

A: 受診者に対しJCBのギフトカード1,000円配布、連続受診された人についても抽選でJCBギフトカードを配布した。人数については、受診率に応じた人数に送らせてもらっている

- ・医療費通知・ジェネリック医薬品差額通知事業
- ・高血圧症重症化予防事業
- ・糖尿病性腎症重症化予防事業

⑥ 保険税(料)水準統一への対応

山口県では、令和5年度策定の「山口県国民健康保険運営方針」に基づき令和8年度から保険税(料)水準の統一を段階的に実施することを決定するが、引き続き、安定的な国保財政の運営に努める

- (2) 議題 2 令和5年度光市国民健康保険特別会計決算見込について
全会一致で承認
- (3) 議題 3 令和6年度光市国民健康保険特別会計予算(案)について
全会一致で承認
- (4) 議題 4 光市国民健康保険第3期データヘルス計画
兼 第4期特定健康診査等実施計画(案)について

① 基本的事項

・計画の趣旨

光市国民健康保険第2期データヘルス計画兼第3期特定健康診査等実施計画が、令和5年度に終期を迎えることから、その成果や目標達成状況を踏まえ、新たに光市国民健康保険第3期データヘルス計画兼第4期特定健康診査実施計画を策定する

・計画期間

令和6年度から令和11年度までの6年間とする

・前期計画に係る考察

特定健診、特定保健指導推進事業については、特に40歳、50歳代の受診率が低いこと、65歳以上は、受診率は高いものの未受診者数も多いことが目標達成に至らなかった要因の一つと考えている。今後はターゲットを絞った受診勧奨やニーズに応じた特定健診及び特定保健指導の機会の拡充など、課題に応じた保険事業を実施し、数値の改善に努める

② 健康医療情報等の分析と課題

- ・医療費の分析
過去5年間で被保険者数の減少に伴い総医療費は減少傾向にあるが、令和4年度の1人当たり医療費は378,466円と、平成30年度と比べ34,420円増加している
- ・特定健康診査、特定保健指導等の健診データの分析
令和4年度の受診率は34.3%で、過去5年で徐々に増加し、県よりも高いものの、全国と比較すると低くなっている
令和4年度の特定保健指導実施率は25.4%で、平成30年度の33.3%よりも低い状況にある。過去5年間の保健指導対象者数は、積極的支援、動機付け支援共に、減少傾向にある

③ 計画全体

i) 保険者の健康課題

健康医療情報の分析を踏まえ、光市国保が優先すべき健康課題を8項目選定

ii) データヘルス計画全体の目的

これらの健康課題を踏まえ、これらの目的を定め、達成するための8項目の健康課題に対応した評価指標について記載しており、年度ごとの目標値が定めてある。尚、項目Hの行動変容割合を除いては、この度の計画は、県内比較が出来るように、県がこれらの事業に対する指標を19市町共通で設定している

iii) 個別の保険事業

目的を、達成するために、優先度を高め、6つの保険事業に展開する

※特定健康診査受診率向上事業

新規事業として、各地域の受診率等を分析し、実情に応じた開催日数や地域の検討について記載。令和6年度については、地域づくり支援センターの集団健診を1日追加

※特定保健指導実施率向上事業

新規として健診結果説明会の開催する

※糖尿病性腎症重症化予防事業

※高血圧症重症化予防事業

※ジェネック医薬品利用促進事業

※頻回受診・重複受診等の適正化事業

④ 第4期特定健康診査等実施計画

・計画の目標

特定健康診査受診率、特定保健指導実施率共に、最終年度である令和11年度までに国の定めた目標60%としている

・評価,見直し

令和8年度には、中間評価を行うことし、必要に応じて、計画を見直す。令和11年度上半期に仮評価を行う

特定健康審査受診率は、県13市中7位

特定保健指導実施率は、13市中3位であった

前回の計画からの変更点として、市町間での比較が出来るようにするため標準化の推進（市町間での比較が出来るようにするため）

4. 退会会員 近藤龍一先生

以上を報告した

Ⅲ 協議・承認事項

1. 令和6年能登半島地震への医療支援金について (広田会長)
20万円を拠出
2. 令和6年8月理事会について (広田会長)
第2火曜日が13日のため、6日(火)開催とする

以上を協議・承認した

令和5年度3月光市医師会定例理事会

日時 令和6年3月12日(火) 午後7時00分より午後7時30分

場所 光商工会館2階 青年部・女性会研修室

出席 広田 修会長、井上祐介副会長、谷川幸治理事、田村健司理事、
前田一彦理事、北川博之理事、山手智夫理事、河内山敬二理事
藤田敏明監事

欠席 吉村将之理事、守友康則監事

議題

I 報告事項

1. 令和5年度第2回都市医師会長会議(2/22) (広田会長)
*令和6年度山口県当初予算案について山口県からの説明
1 3つの基本方針

人口減少克服に向けた施策の構築
やまぐち未来維新プランの着実な推進
持続可能な財政基盤の確立

2 予算規模

健康福祉部関連 1,238億577万5千円（前年比 74.3%）

新規事業抜粋

- ・ 県立総合医療センター移転整備事業
- ・ 感染症危機対応力強化事業
- ・ 若手医師確保総合対策事業
- ・ 救急勤務医支援事業
- ・ 持続可能なへき地医療促進事業
- ・ 女性とAYA世代のがん検診キャンペーン推進事業
- ・ HPVワクチン接種促進事業

詳細は <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/44/246089.html>

議題

(1) 都道府県医師会長会議

第3回（1/30）医師の働き方改革について

中小病院での影響（専門外来の維持など）が予想できない
勤務実態とかけ離れた宿日直許可取得には問題がある
救急や産科医療などに多大な影響が予想 など

* 山口県医師会から日医への質問と回答

- ① 自己研鑽と時間外勤務の区分について
 - ・ 厚労省の通知に示された自己研鑽に係る労働時間の考え方に基づいて
医局全員の合議で院内規定を作成するとされている
- ② 2024年以降の医療体制維持に関するデータは時間外救急の受給状態の予測、
病院経営に及ぼす影響などに関する情報があるか
 - ・ 今後厚労省で研究・検証がなされるので情報が入り次第流す
- ③ 勤務環境の厳しい診療科の医師個人へのインセンティブを診療報酬で支える
制度が必要と考えるがいかがか
 - ・ 診療報酬は医療機関そのものに支払われるものなので、各医療機関の経営
の自由度を持って対応すべき

(2) 郡市医師会からの要望、意見

なし

(3) その他

令和6年6月9日（日） 山口県医学会総会（徳山医師会 主催）

2. 令和5年度第2回山口県医師国保通常組合会 (2/22) (広田会長)

加藤 智栄 理事長挨拶

国保組合の問題点を指摘

- ・補助金の減額
- ・高額医療費問題（血液疾患、がん治療など）
- ・組合員数の減少
- ・複数県での合併や、従業員を除くなどの検討が必要

議題

I 承認事項

第1号 理事の専決処分事項について

- ・被保険者である組合員又は組合員の家族が出産した場合
出産前後3ヶ月の保険料を軽減する

第2号 ・法令遵守のための実践計画

以上を承認

II 議決事項

第1号 事業計画について

第2号 令和6年度山口県医師国保組合 予算

歳入、歳出とも14億7,631万1千円

以上を議決

(1) 被保険者 (令和5年度4月～12月までの平均)

加入者数 3,582人 (△57)

甲種: 777人 (△9) 甲種家族: 1,168人 (△23)

乙種: 1,347人 (△25) 乙種家族: 290人 (0)

(2) 療養給付費 (4月～10月診療分からの推計)

	甲種	甲種家族	乙種	乙種家族	合計
件数	9,551	13,063	19,291	4,536	45,441
給付費 (千円)	220,417	220,854	166,171	44,630	652,072

3. 令和5年度郡市医師会生涯教育担当理事協議会 (3/7) (谷川理事)

(1) 道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会報告

令和4年度日医生涯教育制度単位取得者率

光市医師会 (77.0%)

県内平均 (59.1%)

(2) 令和6年度山口県医師会生涯研修セミナー

令和6年 5月12日 (日)

令和6年 9月 8日(日)

令和6年 11月 10日(日)

令和6年 2月 16日(日)

(3) 山口県医学会総会

- ・令和6年6月9日(日) 周南市文化会館(主催徳山医師会)
- ・令和7年度は、山口市医師会
- ・光市医師会の主催は令和10年予定

(4) 山口県医学会誌 原稿募集

- ・締切は令和6年10月下旬を予定

(5) 山口県医師会医学研究助成金

- ・山口大学医師会会員などの医学・医療に関する研究を支援することにより、医学・医療の発展と医師の山口県内定者促進も目的として、山口県医師会が研究助成金を支援する制度を創設。
- ・1研究100万円、1年3件以内
- ・詳しくは山口県医師会へ

(6) 山口大学医師会・山口大学医学部主催医師生涯教育講座

- ・令和6年3月9日 第一外科による「日常診療のためのエコーによる血管疾患の診断」
- ・令和6年3月17日 第三内科による「基本的な甲状腺診療と甲状腺エコー手技について」

(7) 将来のドクター養成に向けた中高生の職業体験事業

- ・令和5年8月6日宇部興産ビルにて開催。
中高生を対象とし、46名が参加。
- ・次回は県東部での開催を計画

4. 光市三師会役員会(2/14)

(広田会長)

会計報告

令和6年度の予定 研修会開催、2025年3月に総会・懇親会

以上を報告した

II 協議・承認事項

1. 令和6年度事業計画について

(広田会長)

各自読み合わせ、誤字等あれば事務局まで

2. 令和6年度予算案について

(井上副会長)

当初案で承認

3. 臨時総会、定時総会の日程について

(広田会長)

臨時総会 令和6年4月2日(火) 19時～
光商工会館 2階大会議室
定時総会 令和6年5月16日(木)
松原屋 18時15分 総会
19時00分 懇親会

4. 令和6年5月理事会について (広田会長)
5月7日(火) 第1火曜日に開催
4. 入会会員
B会員 進藤 正喜

以上を協議・承認した

1月休日診療所当番医報告

1月		内科系	外科系	
	1(月)	56	15	71
	2(火)	66	7	73
	3(水)	40	4	44
	7(日)	43	8	51
	8(月)	39	6	45
	14(日)	36	3	39
	21(日)	23	1	24
	28(日)	41	3	44
	計	344	47	391

2月休日診療所当番医報告

2月		内科系	外科系	
	4(日)	21	0	21
	11(日)	13	7	20
	12(月)	38	5	43
	18(日)	25	10	35
	23(金)	15	4	19
	25(日)	17	2	19
	計	129	28	157

3月休日診療所当番医報告

3月		内科系	外科系	
	3(日)	14	4	18
	10(日)	28	8	36
	17(日)	18	6	24
	20(水)	20	3	23
	24(日)	21	3	24
	31(日)	9	4	13
計	110	28	138	

月例会報告

令和6年2月27日(火)

1. 臨時総会等、今後のスケジュールについて

令和6年3月26日(火)

1. 臨時総会、定時総会について

異動会員

1月1日付

A会員→C会員 近藤整形外科 近藤 龍一 先生

退会会員

1月14日付

C会員 近藤 龍一 先生

3月31日付

B会員 河村 大智 先生 (光市立光総合病院)
内田 正宗 先生 (")
岩本 圭亮 先生 (")
松尾 清弘 先生 (光市立大和総合病院)
宮川 美子 先生 (")
小田 達郎 先生 (ナイスケアまほろば)

☆ これからの行事予定 ☆

4月	2日 (火)	臨時総会	16日 (木)	定時総会
	9日 (火)	理事会	28日 (火)	月例会
	23日 (火)	月例会		
			6月	11日 (火) 理事会
5月	7日 (火)	理事会		25日 (火) 月例会

緑友会ゴルフコンペ成績

令和6年3月3日
周南カントリークラブ

順位	名 前	OUT	IN	GR	HDCP	NET
優勝	赤崎 信正	48	43	91	9	82
準優勝	小田 達郎	55	52	107	24	83
3	守田 忠正	43	51	94	10	84
4	前田 昇一	52	48	100	14	86
5	佃 浩一郎	48	52	100	14	86
6	光武 達夫	53	56	109	20	89
7	兼清 光帆子	63	62	125	36	89
8	兼清 照久	52	51	103	11	92
9	森本 博士	46	52	98	4	94
10	宮本 寿太郎	53	50	103	8	95
11	南 典文	56	60	116	19	97
12	吉川 真	59	56	115	16	99

NP ②兼清（照） ⑥兼清（光） ⑬森本 ⑰赤崎

DC ⑧佃崎

ドラ短 前田 光武

あ と が き

令和6年（2024年）3月31日で、光市を走るJRバスが運行終了になりました。

このバス路線は、昭和17年（1942年）6月1日に鉄道省の省営バスとして光市内で運行開始、昭和24年（1949年）、日本国有鉄道（国鉄）の発足に伴い国鉄バスとなりました。

昭和43年（1968年）まで今の武田薬品の場所に光高等学校があり、光市役所の交差点から海側に入り、武田薬品東門の交差点から左折して国道188号線に接続し、室積公園口に向う路線がありました。当院のすぐ前にもバス停がありましたが、いつの頃かこの路線は無くなりました。さらに室積駅も無人化の末廃止となり、便数も減り、遂にこの日を迎えました。

附属光小・中学校の9年間、私は光警察署前のバス停から乗車していました。昭和63年（1988年）の国鉄民営化に伴い中国ジェイアールバスとなっても、私の中ではずっと「国鉄バス」です。

2度と撮れない光駅前の写真です。（広田 修）



発行所 光市医師会
TEL (0833) 72-2234
発行日 令和6年4月30日
発行者 廣田 修
編集者 廣田 修
印刷所 光市光井一丁目15番20号
中村印刷株式会社